

# 下関市立大学広報



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

## 下関市立大学

Shimonoseki City University

2021年11月1日 第95号

発行：下関市立大学入試部広報課

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL.083-252-0288

FAX.083-252-8099

<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

## 2021年度オープンキャンパス

8月7日と8日にオープンキャンパスを開催し、両日合わせて435名が参加しました。



新型コロナウイルス感染症対策としては、入場や企画参加を事前予約の定員制とし、各企画の時間を40分に短縮、こまめな換気と消毒など様々に検討しました。

そして、万全を期して対面での開催を迎えました。

各教室で実施した企画は、「大学紹介」「小論文対策講座」「学科紹介・模擬講義」「留学説明会」「保護者説明会」「市大生と語ろう」です。

「大学紹介」では、川波学長の挨拶や菅学部長による概要説明、辻入試部長の入試説明、そして、学生からは吉武学友会会長がサークルや学生生活について説明しました。司会進行は、放送部です。

「小論文対策講座」では、杉浦副学部長が本学の出題の傾向と対策について解説しました。

「学科紹介・模擬講義」では、新しい試みとしてゼミ紹介を学生が担当しました。模擬講義の内容は、1日目は、経済学科「公的年金の考え方:保険の観点から」(横山寛和准教授)、国際商学科「マーケティングを考える-市場の理解と売れる仕組み-」(柳純教授)、公共マネジメント学科「下関と明治維新-『公共哲学』からのアプローチ-」(桐原隆弘教授)。

2日目は、経済学科「はじめよう経済学-経済学と社会のかかわり-」(奥山忠裕教授)、国際商学科「グローバル化と簿記・会計」(高橋和幸教授)、公共マネジメント学科「持続可能な開発を考える」(菅正史教授)です。

「留学説明会」は、国際交流センターが担当し、一緒にゲームを楽しむなど留学生との交流もありました。

「保護者説明会」は、大学生協が中心となり、実際の大学生生活などの質問に生協学生委員が熱心に答えました。

他に、学生企画の「市大生と語ろう」や「学内ツアー」、そして、個別対応としての「個別相談」コーナーも各部署で設けました。

オープンキャンパス後も、新型コロナウイルス感染者の発生は無く、無事に終えることができました。

参加者アンケートでは、「実際に大学の雰囲気が分かった」、「学生に親切に対応してもらって良かった」、「感染対策がしっかりしていた」等、満足したコメントが多く見られました。一方、「企画間の移動時間が短かった」との意見など次回に向けて課題もみつけられました。

参加した皆様に感謝するとともに、次年度も無事開催できることを祈っております。

(学生スタッフによる座談会は6ページ→)



## 就職活動支援

## コロナ禍での就職活動支援

キャリアセンター長 上野 恵美

新型コロナウイルス感染症の影響で、2021年3月に卒業した学生は、合同企業説明会が直前で中止になるなど、就職活動の前半から苦戦を強いられました。その結果、就職決定率は98.3%となりました。しかし、大学通信オンラインの「2021年学部系統別実就職ランキング」では経済系で全国5位、国立大学の経済系の中では全国1位と、コロナ禍の中でも本学学生は大変健闘しており、自分の将来の進路を切り開いてくれました。2022年3月に卒業を予定している現在の4年生も、コロナ禍の影響の中、現在も就職活動に奮闘しています。

キャリアセンターでは、対面での模擬面接・エントリーシートの添削・就職相談に加えてメールや電話、WEBなどを使って、大学に来られない学生にも対応できるサポート体制を整えています。また、企業・団体の方々と接点を持つことで、自分の将来についてしっかり考えられるよう支援するため、感染対策を万全に行いながら、様々なイベントを開催しています。

いよいよ3年生は就職活動の本番を迎えます。キャリアセンターを最大限に有効活用しながら、就職活動に挑戦し、自分の進みたい将来をつかみ取っていきましょう。



## 北海道電力株式会社に内定

経済学科4年 武田 蒼生  
(北海道立北海道帯広柏葉高等学校出身)

私が就職活動を始めたのは、3年時の夏からでした。まず、ゼミ活動内で、多数の企業分析や情報交換を行い、就職活動に対する意識を強めることから動き出しました。先輩や教授のアドバイスを受け、興味の有無や業界を問わず、説明会やインターンシップ等のイベントに100回近く参加することで(企業は50社ほど)、企業選びにおける軸を見つけていきました。私は最後まで業界を絞ることが出来なかった為、幅広く約50企業の面接を受け、就職先を決定しました。多くの面接経験を通じて、熱意をもって「自分の言葉」で伝えられるようになった事が、内定をいただくことができた理由だと思っています。

最後に、就職活動はとにかく準備が大切です。感染症のこともあり、不安や辛いことが沢山あると思いますが、万全の準備をして自信をもって挑むことで、うまくいくと思います。体調に気を付けて、自分のペースで頑張ってください。



## 福岡県信用保証協会に内定

国際商学科4年 池田 智哉  
(宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校出身)

私が就職活動を通して大切だと感じた事を述べたいと思います。

まずは励まし合いながら共に頑張れる友人関係です。自分の進路についてどうすべきかと迷っていた所で、友人らの話を聞いて、半官半民の企業に興味を持ち、自分の進路が定まりました。私自身では思いつかなかった視点から、私の事を考えてくれることも多々あり、新たな道や考えが見えてくるきっかけになります。その後もお互いに情報共有や対策をしながら、高め合うことで前進できたと感じています。

次に、自分をありのままに表現しようとする事です。面接を受けたり、エントリーシートを書いたりする中で自分自身を良く見られたいと思うのは当たり前ですが、そこで大きく取り繕ってしまったら、自分の本来の良さは見てもらえないと思います。選考において何よりも性格や個性を見られていたように感じました。自分という人間をありのままに知って貰えたら、きっと良い就職先に出会えると思います。

就職活動は自分の今後の人生を考えるだけでなく、これまでの経験についても振り返り、そこから自分自身を見つめ直す良い機会だと思います。選択肢やすべき事が沢山あり、難しく感じるとは思いますが、あまり考え込みすぎずにまずは自分を知らうと思うだけで、就職活動を始めるきっかけになると思います。



## 株式会社阿波銀行に内定

公共マネジメント学科4年 榎本 圭一郎  
(徳島県立城東高等学校出身)

就職活動を通して、特にこれはやってほしいと感じたことは、早い時期から興味のある企業に複数エントリーして経験を積むということです。本命の企業を受ける前に場慣れするため、特に面接に関しては、たくさん選考を受けて本番の緊張感のなかで自分がどれだけ出来たかというのはすごく大きな自信になってくれると思います。

また、就職活動の軸についてしっかり考えておくことも大切だと思います。地元の企業に焦点を当てるのか、特定の業種に就きたいのかでは、就職活動のやり方も変わってくると思います。悩んだ時はぜひキャリアセンターの方に相談してください。私もエントリーシートの書き方から本当にお世話になりました。

最後に、長い就職活動で不安に思うこともあると思いますが、ため込まずに相談して不安を解消しましょう。また、時には気分転換をすることも必要だと思います。このご時世なので体調には気を付けて就職活動をやりきってください。



## インターンシップ報告

### 2021年度インターンシップ報告

特任教員(キャリア教育担当) 石川 朝子

2021年度も引き続き、キャリア教育の一貫として、単位認定型によるインターンシップを実施しました。インターンシップは大きく3つに分類することができます。まずは、大学と企業・団体が提携して就業体験を行う「国内インターンシップ」、そして海外の企業で学ぶ「国際インターンシップ」、最後に、学生本人が行きたい企業・団体に応募する「自由応募型学外インターンシップ」の3つです。今年度は、自由応募を含み、32企業・団体にて、計41名がインターンシップを経験しました。参加者数の内訳は、3年生が26名、2年生が15名となっています。単位認定者数41名の内の4割程度が2年生の参加となり、早い時期からインターンシップに興味関心を持つ傾向にあることが伺えます。



また、本年度はシンガポールの8企業・団体様にご協力いただき、オンラインによる国際インターンシップを実現することが叶いました。学生6名が、企業・団体様から事前にいただいた課題について準備を行い、各企業3時間に及ぶプログラムの中でその成果を発表しました。ある企業でのインターンシップは、全て英語で行われましたが、学生は課題発表や現地社員の方への質問など積極的に行っていました。

長引くCOVID-19の影響の中にあっても、ご協力いただいた企業団体様には学生の安全と深い学びについてご検討いただきました。貴重な機会を与えていただきましたことを心より御礼申し上げます。今後とも本学のキャリア教育へお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### リモートインターンシップを終えて

経済学科2年 久米 浩太郎  
(兵庫県立小野高等学校出身)

私は夏季の長期休業中に、5日間のリモートインターンシップのプログラムに参加させていただきました。このインターンシップに参加した理由は、どんな仕事・企業があるのかを知り、仕事の感覚を掴みたかったからです。また、他大学の学生と交流して幅広い考え方を学ぼうと思ったからです。

今回私が参加した企業ではグループ課題があり、30秒CMを作るというものでした。今まで体験したことのない映像の分野と、初めて会うグループメンバーと協力する必要があったので最初は不安でした。しかし、メンバー全員が積極的に意見を出し合い、それぞれ役割を決めることによってとても良い作品を制作することができました。

今回の研修を通して、メンバーと協力して仕事を成し遂げる楽しさ・難しさ、リモートワークのメリット・デメリットを知ることができました。今後の大学生活では、資格の取得などに取り組んでいこうと思います。



### 下関市役所観光スポーツ文化部での5日間

公共マネジメント学科3年 岡藤 千夏  
(山口県立下関高等学校出身)

私は、夏季の長期休業中に下関市役所観光スポーツ文化部のインターンシップに参加させていただきました。このインターンシップに参加した理由は、市役所の業務内容を学ぶことは勿論、学生でもあり下関市民でもある私の見解と行政としての見解を比較した上で、新たな視点をもって物事を考えたいと思ったからです。



5日間にわたるインターンシップでは、主に下関市の観光に関する政策立案をしました。その際、私は、多くのことを情報収集し取捨選択することの大切さや、物事を俯瞰して考えることの重要性を身に染みて感じました。また、ひとりひとりの職員の方が市民のことを一番に考えて行動されているのを見て、私の地方公務員としての理想的な将来像がより一層明確になりました。

今回のインターンシップを通じて学べたことは非常に多く、5日間という中でも自己成長できたのではないかと感じます。しかし、この満足感に浸るだけでは意味がないため、今後の大学生活では、インターンシップで痛感した自身の足りない能力を補えるように努めていきたいです。

### 国際インターンシップ(シンガポール)に参加して

国際商学科3年 西本 慎一郎  
(福岡県立戸畑高等学校出身)

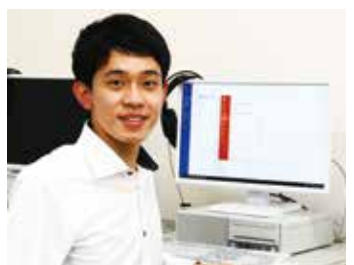
私が参加した国際インターンシップは、シンガポールに進出されている計8社の日系企業の方々から事前課題をいただき、約1か月かけて準備したものをリモート形式で各企業の方々に発表し、コメントや評価をいただくという内容でした。中には、プレゼンから質疑応答まで、すべて英語で行う企業もありました。

レクチャーでは、海外勤務の内容をはじめ、企業の方々のキャリアプランや学生に向けたアドバイスなど、大変貴重なお話をいただきました。

私は今回のインターンシップを通して、プレゼン力や英語力が欠けているという課題を発見できたとともに、5年後、10年後を見据えた自身のキャリアプランを明確に立てることができました。国際インターンシップに参加して本当に良かったと感じています。

今年度はコロナ禍で、現地に赴いて実習を受けることは出来ませんでした。大変有意義な時間を過ごすことができました。

この記事をご覧になった海外勤務に少しでも興味のある学生の方は、ぜひこの機会に国際インターンシップに挑戦してみてください。



## 海外派遣留学

### 木浦大学校での留学生活

国際商学科4年 石丸 範佳  
(佐賀県立致遠館高等学校出身)

8月から韓国にある木浦大学校に派遣留学しています。コロナ禍の中での留学に出国前から楽しみと不安が半々でした。実際入国後2週間の隔離生活は環境があまり良くなくて、とても辛かったです。しかし、隔離解除後は木浦大学校の学生さんたちがご飯や買い物、遊びに連れて行って来て充実した日々を送っています。授業はもちろん韓国語なので韓国語が未熟な私は辛いと感じることが多いですが、学生さんたちがいつも隣にきて一緒に聞いてくれ、毎日いろいろな形で助けてくれます。

今後の留学生活も楽しいことや辛いことが沢山あると思いますが、帰国するときには留学してよかったと思えるようないい経験になるように頑張りたいと思います。



### 留学半年を残して思うこと

国際商学科3年 三浦 桜子  
(福岡・自由ヶ丘高等学校出身)

2021年3月から釜山外国語大学校(韓国)に留学しています。留学直後に授業が始まりましたが、すべて韓国語で行われる授業、周りは韓国人の学生という状況に不慣れなこともあり最初はストレスと不安が大きかったです。しかし、だんだん環境に慣れ、韓国での生活が楽しくなってきました。

夏休みは普段行くことがない地域を旅行し、学校の英語講座を受講して英語を使う機会も作りました。2学期が始まりましたが、あと数か月しかないと思うと寂しいです。もちろん、課題や授業は日本にいる時よりも大変ですが、今はそれを楽しめています。韓国語の勉強は、まだ全然「できる」という領域はないと日々気づかされますが、新しい出会いは楽しみです。



## 世界へはばたく!グローバルキャリアの道!!

### グローバルキャリアの道~ドイツで働くデザイナー~

大津 ひかり  
(2017年度国際商学科卒業)

市大卒業後すぐに渡独、現在は南ドイツの大学でUXデザインを学びながら現地の企業でWebやアプリのデザイナーとして働いています。内向的で人と話すことがあまり得意でない私が海外でキャリアを積んでいるのは、自分の性格や思考方法にあった仕事を見つけたからです。



講演では異国で働くために現在進行形で意識している3つのこととお話しました。一つ目は、住みたい国とやりたい仕事が変わる領域を見つける。次に、少しでも興味関心があるなら失敗を恐れずに挑戦してみる。最後に、幅広い情報収集で常にアンテナをはっておく。大多数の卒業生とは異なりルールを外れたキャリアを歩んでいる一例ですが、就活や海外キャリアで悩んでいる学生さんに何か伝わるものがあり、そしてキャリア選択の視野を広げるきっかけになれたのであれば嬉しいです。



### 国際経験のある先輩方の話を聞いて

経済学科3年 上西 穂花  
(岡山県立倉敷青陵高等学校出身)

グローバルキャリアの道は、学生時代に国際経験のある市大の先輩方の話を聞くというものでした。参加して感じたのは、働き方や生き方には色々な選択肢があるということです。



市大を卒業し海外移住された先輩や今現在も海外の大学に通いながら自分の好きなことを学んでいる先輩、日本で活躍されている先輩など様々でした。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大学生活でやりたいことを実現できず、就職活動も本格的に差し迫っている中で私はただただ焦りを感じるばかりでしたが、お話を聞くうちに在学中にやりたいことが実現できなかったとしてもこの先チャンスはあるだろうし、ルールに乗った生き方じゃなくて色んな道があると知り、前向きな気持ちになりました。

#### グローバルキャリアの道(7人の卒業生が競演)

~学生時代に留学や国際経験をした先輩のこれまでの道のりと後輩へのメッセージ~

氏名	学部	経歴	メッセージ
大津 ひかり	国際商学科	南ドイツの大学でUXデザインを学びながら現地の企業でWebやアプリのデザイナーとして働いている。	内向的で人と話すことがあまり得意でない私が海外でキャリアを積んでいるのは、自分の性格や思考方法にあった仕事を見つけたからです。
三浦 桜子	国際商学科	2021年3月から釜山外国語大学校(韓国)に留学しています。	最初はストレスと不安が大きかったです。しかし、だんだん環境に慣れ、韓国での生活が楽しくなってきました。
上西 穂花	経済学科	海外移住された先輩や今現在も海外の大学に通いながら自分の好きなことを学んでいる先輩、日本で活躍されている先輩など様々でした。	お話を聞くうちに在学中にやりたいことが実現できなかったとしてもこの先チャンスはあるだろうし、ルールに乗った生き方じゃなくて色んな道があると知り、前向きな気持ちになりました。
...	...	...	...

## 国際交流

### 中国語交流は言葉だけでなく、 心でもしています!

国際商学科3年 習 高岩  
(中国・遼寧省出身)

幼い頃から下関出身の「やすさん」という優しい方が日本語を教えてくれたので、いつしか「やすさん」みたいにたくさんの人に中国語を教えることが夢になりました。

来日前に中国標準語テスト(The Putonghua Shuiping Ceshi:PSC)一級甲に合格し、アルバイトで中国のアニメやゲームなどのアフレコをやっています。今は「中国語で交流して友達になろう!」のファシリテーターも担当しています。皆さんのレベルが違うので上手な人は全て中国語でお話をしたり、初心者なら日本語で説明した後で中国語を教えたり、時には皆さんと一緒に動画やアニメを見てお互い感想を交換したり、中国の観光地や美味しい食べ物を紹介したり、ゲームをして、みんなが楽しめる雰囲気を作るようにしています。

たくさんの人に参加してもらい友達になりたいと思います。



### 楽しい国際文化交流!

国際商学科3年 鄭 祐鎮  
(韓国・京畿道出身)

蒸し暑かった6月、私は国際文化交流活動を始めました。その活動とは、「韓国語で遊ぼう!知ろう!」とあって、韓国の文化について自由に話し、韓国の文化を知り、韓国語を学んでもらう活動です。最初は18人もいる参加者に緊張しました。しかし、韓国に興味を持ってくれたことがうれしく、より多くの韓国文化を教えてあげたいと思いました。その結果、今はもう友達のような感覚になり毎週の活動日が楽しみです。たまに私と話すより、BTSの動画を見ている時に目がキラキラしている学生もいて、「もっと頑張らないとなー」と思います。でも、みんなのおかげで暑い夏も早く感じました。11月になり、2021年度も少ししか残っていません。

もし良かったら、あなたも楽しい国際文化交流に参加してみませんか?



### 銘傳大学のInformation Sessionに参加して

国際商学科1年 前原 未蘭  
(広島県立三次高等学校出身)

銘傳大学のInformation Sessionと交流会に参加して、改めて台湾の文化は良いものだなと感じることができました。

私が台湾に興味を持ったきっかけは、高校の修学旅行で台湾に行ったことでした。現地の人々と交流する中で、台湾の文化や伝統に惹かれる部分がたくさんありました。大学で機会があれば台湾の姉妹校と交流したいと思っていたので、今回実際にオンラインで交流できて嬉しかったです。

東西南北それぞれの地域で異なる魅力がたくさんある台湾のことを知ることができたので、コロナが収束した後に、今回Sessionで聞いたそれぞれの場所に実際に行き、色々な台湾文化に直接触れてみたいと改めて決心できた交流会でした。

銘傳大学のみなさんありがとうございました。



### 優れた接客スタイル~おもてなし~

国際商学科4年 イムラン アリ  
(パキスタン・パンジャブ州出身)

まさか、大学生でありながら旅館で働き、日本の伝統である「おもてなし」に触れ身に付けることができるとは思いませんでした。私におもてなしを学ぶチャンスをくださった割烹旅館寿美礼の若旦那、和田健資氏のおかげで日本の伝統文化を少し身に付けることができました。

「おもてなし」とは丁寧な接客というのが私のイメージでしたが、寿美礼でアルバイトをして「おもてなし」とはお客様が期待さえしていないことも先読みしてニーズに応えることだと学びました。先読みができるようになるためには、まず自分自身を含む周りに気を配り、優しく且つプライドを持って接することです。それで初めて優れた接客ができることを学びました。

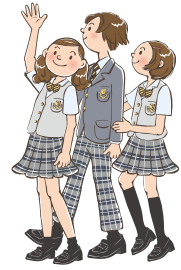
この学びを得て成長し続け、社会人として活躍したいと思います。



# オープンキャンパス学生スタッフに聞く!



国際商学科 3年  
坂本 英里華(左)  
(下関市立大学生協学生委員長 広島国際学院高等学校出身)  
経済学科 2年  
川俣 寧音(中)  
(下関市立大学生協学生委員 宮崎県立宮崎南高等学校出身)  
経済学科 1年  
澤田 侑希(右)  
(下関市立大学生協学生委員 神戸星城高等学校出身)



2年ぶりに開催した今年のオープンキャンパスについて、  
毎回、学生スタッフとして関わっている生協学生委員の皆さんに聞きました。

## — 今回のオープンキャンパスに参加していかがでしたか？

坂 保護者会のアンケートを見ると、高校生や保護者の方がとても満足していたようですので、コロナ禍の中でも開催して良かったと思いました。あと、1年空けての開催で、前は1年生だったので、私は手探り状態でした。そういうときに4年生が手伝いに来てくれて学生同士の絆を感じました。

## — 川俣さんと澤田さんは初参加ですがどうでしたか？

川 下関に初めて来た方がたくさんいて、街の雰囲気やわからず心配している保護者が多かったので、坂が多くて自転車通学は大変だとか、自分自身が住んだからこわかることを伝えられたのが良かったと思います。

澤 入試対策など受験段階で悩んでる人が多かったという印象です。高校生もそうですし保護者の方も同じような悩みを持っていました。

## — どういうことを聞かれましたか？

坂 ほとんどが推薦入試を希望していて、評定はどのくらいあったかや、小論文対策はどうしたかなど、私個人の経験を聞かれました。前回アドバイスをした生徒が、生協担当の新生入試サポートセンターに来て「合格しましたよ」と言ってくれたので、またそうなればと意識して話しました。



川 保護者は大学生活のイメージが湧かないという質問もあるし、コロナが影響している時期なので、オンライン授業についてや、今もオンラインでやってるのかななどの質問が結構多かったです。こういう状況ではなかなか友達ができないという人も多いですが、「自分から積極的に活動などに参加することで、友達はオンラインでもできますよ」と説明しました。

澤 推薦対策については、僕はNHKの「クローズアップ現代」を見たらいろいろなニュースが見れるので良いですよと伝えました。ほかに、「大学はどんな感じか」と聞かれて、「全国から学生が集まっているのであちこちの方が聞けて楽しいですよ」とか答えました。

## — 坂本さんと川俣さんは高校生時代に本学に来てるんですね。

坂 印象としては学生が元気だったことです。他の大学は教職員が案内などをしていましたが、ここは全部学生だったので、学生同士の関わりの強い大学なのかな、という印象も受けました。

川 大学や周辺の街について尋ねると、他所は「なんかあんまり…」という感じの答えばかりでしたが、ここは自信に溢れてるというかキラキラしてる感じで、それがとても楽しそうでした。一緒に来た父も「凄く感じの良い雰囲気だね」と言って、ここに来たいという気持ちが強くなりました。

## — 澤田さんの時は、もうコロナ禍の中ですね。

澤 全部オンラインになっていたので直接行くことはなかったです。参加した大学は職員の方と個別面談がありましたが、学生目線での話は聞くことができませんでした。

## — 大学生として伝えたいことはありましたか？

澤 大学がどんな感じなのかイメージしてもらえよう、大学の特徴といえますか、どういう学生がいるとか、そういうことを伝えるように意識しました。先生とは距離感が近くて、メールを送ったら10分くらいで返信があって迅速な対応だとか。

## — それは良い先生に当たっただけかも(笑)

川 私は自分が声をかけられたのが凄く嬉しかったので、もし困っていたり不安そうな生徒がいたら、コロナなので距離を保ちつつ、声をかけるよう意識していました。保護者には、どんなことを知りたかったか自分の親に実際に聞いて、大学や街の雰囲気を伝えられるように心がけてました。



## — 坂本さんは前回と今回とで違いはありましたか？

坂 1年生のときは教室が来場者で一杯だったので凄く思ったんですけど、今回は予約制で少なかったですね。ただ、学生によるゼミ紹介など新しいことをやっていて、コロナが無ければ何も変わらないと思うので、良いきっかけにはなったかと。

## — 高校生や保護者に違いはありましたか？

坂 たくさん来たときは、「とりあえず行ってみよう」という人が多かったと思いますが、少人数になると「本当に市大に入りたい」という生徒が多かったような印象です。

## — 準備作業はどうでしたか？

澤 オンラインでの新歓時にちょっと顔を知った人と初めて対面で話すことができ、とても良かったです。

川 1年と2年と3年とが対面ではあまり活動してこなかったの、みんなで仲良く協力しながらできたのが楽しかったし、3年生が最後だったので良い活動ができたと思います。

## — コロナ対策はどうでした？

坂 教室の人数が限られていて、6部屋ぐらい少人数に分かれていたので、情報伝達がすごく難しかったです。

## — こうしたら良かったという点はあるですか？

川 学生ブースに来る人が少なかったのですが、学生の生の声が聞けるいい場所だと思うのでそこをもっとPRできれば良かったです。また来年もいろんな方に参加して欲しいです。

坂 コロナのために「遠くの方はちょっとご遠慮ください」という感じだったので、Zoomなどを使って遠隔で参加できるような、遠くからでも学生と一対一で話せるような企画があれば、全国どこからでも繋がることできるのかなと思います。

澤 場所にとらわれないオープンキャンパスができるようになったらいいですね。



## — 広告のコピーみたいですね(笑)。他には？

川 小論文対策講座に質問コーナーがあれば良かったと思います。講義だけだと高校生にはちょっと雰囲気がついので、気になることがあれば聞いてくださいといったアットホームな感じがあれば良いです。

坂 学生ブースでもできそうですが、学生の経験談など、学生目線で小論文対策をアドバイスできるコーナーがあったらいいなと思いました。

## — では最後に一言

坂 私は今回で引退になりますが、大学の方と一緒に生協学生委員が高校生に向けたイベントを企画したり、オープンキャンパスも、もっともっと新しく面白いものを作っていけたらと思います。

## 学外活動

### FTSNでの代表活動について

国際商学科4年 内田 朱音  
(熊本県立済々黌高等学校出身)

FTSN(フェアトレード学生ネットワーク)は、九州、関西、関東、中部、北陸、北海道と全国に渡り支部を持ち、またそれら支部が1つにまとまり、「FTSN JAPAN」としての動きもしています。

私は現在FTSN JAPAN 17期の代表を務めています。現在はオンラインベースで、全国の国際協力に取り組む学生同士の交流や情報交換の場作りとしてのイベント企画、5月のフェアトレード月間にはFLJ(フェアトレード・ラベル・ジャパン)様と共同してプロジェクトを行ったり、内部ではフェアトレード勉強会、そしてその内容をSNSにまとめて発信したりと精力的に活動しています。

もともとは、1年生の時、所属する学内サークルでの活動で知ったのをきっかけに、スタッフとして加わりました。普段学生生活を送るだけでは関わることのできない、全国のアクティブで面白い学生たちと、この団体で集い活動を行うこと、また代表として自分が軸になりながら全国規模で様々な活動を行うことに時には難しさ、しかし何より楽しさと充実感を感じています。



FTSN(Fair Trade Student Network)とは  
国際協力、特にフェアトレードに焦点を当て、日本の学生の間で活動を行う全国規模の学生団体。

### 大成功を収めた九州未来フェスティバル

公共マネジメント学科4年 内野 浩聖  
(山口県立小野田高等学校出身)

8/28(土)に九州最大級のキャリアデザインイベント「九州未来フェスティバル」が開催されました。

新型コロナウイルスの影響もあり、オンラインでの開催となりましたが、全国から220名の参加者が集い、さらには10社の企業様、10名のゲスト、5つの学生団体、そして我々運営を含め約300人での開催と、文字通り九州最大級のキャリアデザインイベントとなりました。

私が運営に携わろうと思ったのは、地方に住む学生に少しでも「自分らしい人生を送ることの喜びや楽しさ」を選択肢の一つとして提供したかったからです。広報班としてSNSの運用(TwitterやInstagramなど)を担当し、より多くの方に周知できるように1日1投稿を最低目標に全力で取り組みました。

開催1週間前の時点では、参加学生100人足らず、ゲスト・企業様も揃わずと課題の山でしたが、北九州市の後援を始め、たくさんの方に支えていただきました。結果、多くの参加者と満足度96%という大成功を収めることができました。

関わっていただいた皆様、本当にありがとうございました。



九州未来フェスティバルとは  
「人生のターニングポイントを創る」をテーマに、今年で6回目の九州最大級のキャリアデザインイベント。

## 下関市立大学 News & Topics

### 新集密書庫 クリーニング作業

図書館では新集密書庫において発生したカビに対処すべく、図書や書架のクリーニング業務を実施しています。資料を利用可能な状態に戻すため丁寧に作業する必要があります。具体的には、掃除機で図書表面のホコリやカビを吸い取り、次に濃度70%のエタノールを染み込ませたワイピングクロスで拭き取りを行います。

本学の学生もアルバイトとして協力してくれています。新型コロナウイルスの影響でアルバイト先が減った学生への経済的支援になり、加えて図書を大切にすることを育てていただけたら望外の喜びです。



### 春学期卒業証書・学位記授与式

9月30日(木)、本館Ⅱ棟2階学長室において、令和3年度春学期卒業証書・学位記授与式が挙行されました。今年度は、経済学科5名、国際商学科2名の合計7名が本学を巣立ちました。川波学長は告辞として「これからは新しい始まりです。自分のペースで焦らず、地に足を付けて、市大生としての誇りを持って頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。



■ 2021年度 春季・夏季大会成績

サークル		
準硬式野球部	中国地区大学準硬式野球春季大会	優勝
	文部科学大臣杯第73回全日本大学準硬式野球選手権大会	全国大会2回戦敗退
男子バレーボール部	山口県大学高専バレーボールリーグ戦	第2位
	令和3年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会山口県ラウンド	第3位
	第93回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会入替戦	2部残留
女子バレーボール部	山口県大学高専バレーボールリーグ戦	第3位
軟式野球部	西日本地区学生軟式野球春季リーグ戦	第4位
少林寺拳法部	第49回山口県少林寺拳法大会 兼 [2021年少林寺拳法全国大会in Tokyo] 選考会	
	組演武 一般女子 初・二段の部 波多江 芹奈、浅野 みのり	1位 <small>(全国大会出場権獲得)</small>
	組演武 一般男子 初・二段の部 北條 琢斗、福留 広大	2位
個人		
前田 優太(ボクシング)	三重とこわか国体山口県代表選抜	中止
中島 大空(ラグビー)	三重とこわか国体山口県代表選抜	中止

【全国大会出場】

準硬式野球部

文部科学大臣杯第73回全日本大学準硬式野球選手権大会



■ 行事記録 (2021年7月～10月)

- 7月 8日 市民大学公開講座
- 25日 下関くじらサマースクール
- 8月 2日 春学期定期試験(～12日)
- 7・8日 オープンキャンパス
- 13日 夏季休業(～9月26日)
- 19日 大学院中間発表会
- 9月 4日 大学院入試(一次募集)
- 6日 大学コンソーシアム関門(～9日)
- 15日 秋学期履修登録開始(～21日)
- 27日 秋学期授業開始
- 30日 春学期卒業式
- 10月 25日 履修登録取消期間(～29日)
- 26日 後期授業料納入期限

■ 今年度の入試スケジュール

【学校推薦型選抜・特別選抜(社会人・帰国子女)・第3年次編入学】

試験日	試験日: 2021年11月20(土)	
出願期間	推薦・特別	2021年11月1日(月)～11月9日(火)
	編入学	2021年10月14日(木)～10月22日(金)

【外国人留学生】

選抜方法	出願書類及び日本留学試験の成績による総合評価
出願期間	2021年12月16日(木)～12月24日(金)

【一般選抜(前期日程)】

試験日	2022年2月25日(金)
出願期間	2022年1月24日(月)～2月4日(金)

【一般選抜(公立大学中期日程)】

試験日	2022年3月8日(火)
出願期間	2022年1月24日(月)～2月4日(金)

●お知らせ

すべての選抜においてインターネット出願を導入します。従来の紙での出願受付は行いません。

私のゼミ

連載企画

自分たちで“地域や都市を視る”ゼミ活動

国際商学科3年 大下 風歩  
(広島県立広島皆実高等学校出身)

菅ゼミでは、都市や地域が抱える課題や現状について分析し、それらに対する解決策等を考察することに取り組んでいます。実際のゼミ活動として、春学期にはグループワークやフィールド調査を通じて課題とプレゼンテーションに取り組みました。菅先生含め、ゼミ生同士の意見の交流が活発なので、とても勉強になります。

私が活動の中で学んだことのひとつが、「白地図や実際の町の風景からは読み取ることのできない、様々なデータを調査し、照らし合わせることの重要性」です。この作業を通じて、地域をより多面的に分析することができると学びました。

これからも、学んだことを活かしつつ、ゼミ活動に意欲的に取り組んでいきたいと思っています。



◎ご意見・ご感想をお持ちの方は、アンケートにご協力をお願いします。今後の広報活動に役立てるよう努力いたします。以下のQRコードを読み取ってからアンケートにお答えください。

[https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/form/koho\\_mail.php](https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/form/koho_mail.php)

